

1 学期の総合訪問を振り返って

一人一人の子どもを大切にする教育活動を!

今年度は、小学校5校・中学校4校の総合訪問が予定されています。
今回は、1学期に実施された、3校の教育活動の様子について、ご紹介します。
他校の教育活動の特色や工夫点を知ること、お互いに高め合うことができれば幸いです。

奥州市立南都田中学校

●地域との協働・連携

幼稚園、小学校、中学校が隣接し、それぞれのPTAの連携を図るために「南都田学園PTA連絡協議会」が組織され、相互の授業参観や情報交換等三校種合同の活動が行われています。

また、PTAとは別に地域全体で加入する「南都田学園教育後援会」も組織され、子ども達の健全育成や文化・体育活動の振興に努めています。

●「自律の心を育む」運動の推進

生徒会活動を中心に据え、生徒自らが「自律」について考え、「自律の日」「自律を考える会」「自律心宣誓書」を設定し、行動する取組が行われています。この日も学級活動の中で「生活向上と自律心」をテーマにした授業が行われ、学級の行動や自分自身を見つめ直し、今後に向けて真摯に考えている姿を見ることができました。



●豊かな読書活動

全校朝読書を推進し、授業日99%の実施率を達成しています。生徒の実態から課題を捉え、学校組織として取り組み、着実に成果へとつなげています。

金ヶ崎町立永岡小学校

●スローガン「元気で 本気で 最後まで」がんばる永岡の子ども

子どもたちが「学校は楽しいところ」と思える学校づくりを経営の基本方針に掲げています。先生方の「目配り・気配り・心配り」が学校の至る所になされ、子どもたちが落ち着いた環境の中、前向きに、明るく生活する姿を見ることができました。



●家庭・地域との連携

3世代同居家庭の割合が84%という地域性を生かし、「共に子どもを育てる」意識を共有し、感動体験や協働体験ができるよう、家庭・地域との連携を深めています。

●復興教育への取組

H26は高学年が県沿岸部へ行き、震災の爪痕を実際に感じたそうです。また、講演会を設けたり、児童会が中心となって募金活動を行ったりしています。H27は修学旅行の行程や内容を見直し、宮城県の被災現場を訪問したそうです。自分に何ができるかという意識を高めながら、発達段階に応じた取組を意図的・継続的に推進しています。

奥州市立玉里小学校

●笑顔で登校 感謝で下校

子どもたちと先生方の信頼が構築されており、子どもたちの自信を育んでいます。また、安全教育に力を注ぐことで、相手を大切にする気持ちが育ったり、自分自身を見つめ直すことができたりと、特色ある活動を推進することの素晴らしさを感じられます。

●自転車指導・無事故運動

児童の安全意識をつむぐ活動として、「無事故1500日運動」と「自転車指導」を展開しています。交通安全子供自転車県大会では4年連続優勝しています。無事故1500日運動も7回達成し、現在8回目に向けての運動を開始しています。



●目指す「家庭像」

「家族のふれあいを大切にし、温かい家庭を築き、心身ともに健康で我慢強い子どもを育てる」ことを学校とともに共有し、生活習慣や親子の対話、手伝いなどを項目に掲げ、子どもの成長を学校・家庭で共に見守るよう推進しています。

授業で大切にしたいこと → 思考力(考える力)を身に付けること <坂川孝志所長の挨拶より>



- 思考場面を意識して設定すること (教材研究の必要性)
- 思考のエネルギーを十分に高めること (課題意識を高める、主体的な学びが確かな学びへ)
- 思考の質を高めること (考えを深める、一人の気づきが全体に共有される)
- 思考する学びを継続すること (一人ひとりを認め、評価する)